

新潟米 マンスリーレポート

(令和3年3月号)

《今月の特集》

新潟米基本戦略を改定しました

これまで本県では、平成29年5月に策定した「新潟米基本戦略」に基づき、需要に応じた米生産を進めてきました。

現行の新潟米基本戦略については、今年度が目標の最終年度となっていたことから、農業者の皆様をはじめ、関係者・団体からの御意見を踏まえ内容を検討し、3月22日の県農業再生協議会において、新たな新潟米基本戦略が承認されました。

【基本的な考え方】

- 本県は、主食用米と非主食用米とを合わせ全国一の米生産を担い、農業産出額の約6割を米が占める米主産地であり、米を基幹とした水田農業が展開されている。
- 人口減少や新型コロナウイルス感染症等により、主食用米の需要が減少している中で、本県の基幹産業である稲作農業と、本県を代表する地場産業である新潟清酒や米菓など米関連産業が連携し、双方の振興を図る必要がある。
- そのため、米については、需要に応じた生産を基本としつつ、主食用米・非主食用米を合わせた米全体での需要拡大と、生産者所得の最大化のための多様な米づくりを推進する。
- 更に、本県の強みである米に加え、国産大豆等のニーズの高まりへの対応や、園芸導入により経営の幅を広げ、水田フル活用による本県農業の成長産業化を進める。

【目指す方向】

- 今後も更なる担い手への農地集積の進展が見込まれることから、農地中間管理事業等の効果的な活用により農地の集約化を進めるとともに、スマート農業等の普及拡大による作業の省力化・効率化を進め、水田農業の生産性の向上を図る。
- また、中山間地域においては、農家戸数の減少や高齢化が顕著であることから、多様な人材の参画により経営基盤の強化を図り、将来にわたって農地を維持できる地域の営農体制づくりを進める。

新たな「新潟米基本戦略」の全文については、県ホームページで公開しています。

(<https://www.pref.niigata.lg.jp/site/nouen/>)

新潟米の販売状況

概況

令和3年2月末時点の2年産新潟米の販売比率は、一般コシヒカリは前年を下回っており、民間在庫は前年同期から1.9万トン増加している。

また、相対取引価格は前年同期に比べ、新潟一般コシヒカリが60kgあたり445円、魚沼コシヒカリが481円下回っている。

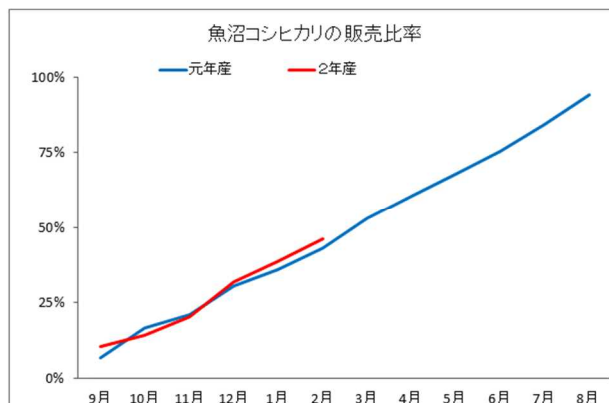
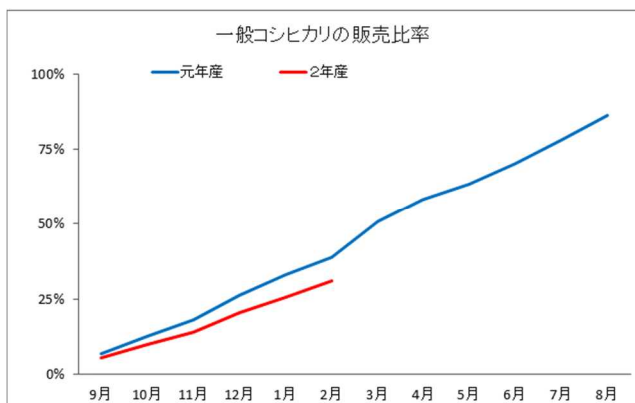
販売比率

(1) 一般コシヒカリ

1月時点の2年産一般コシヒカリの販売比率は、前年比8ポイント減の31%となっている。

(2) 魚沼コシヒカリ

1月時点の2年産魚沼コシヒカリの販売比率は、前年比3ポイント増の46%となっている。



販売比率の推移

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	8%	15%	22%	31%	41%	49%	58%	67%	73%	80%	87%	94%
	元年産	7%	13%	18%	26%	33%	39%	51%	58%	63%	70%	78%	86%
	2年産	5%	10%	14%	21%	26%	31%	-	-	-	-	-	-
魚沼コシヒカリ	30年産	11%	18%	25%	36%	42%	49%	58%	68%	75%	82%	89%	95%
	元年産	7%	16%	21%	30%	36%	43%	53%	60%	68%	76%	84%	94%
	2年産	10%	14%	20%	32%	39%	46%	-	-	-	-	-	-
岩船コシヒカリ	30年産	5%	15%	23%	31%	36%	45%	54%	67%	74%	80%	89%	98%
	元年産	5%	11%	16%	24%	29%	34%	43%	52%	57%	67%	80%	88%
	2年産	5%	11%	17%	25%	33%	38%	-	-	-	-	-	-
佐渡コシヒカリ	30年産	7%	23%	27%	36%	46%	52%	60%	67%	76%	81%	88%	94%
	元年産	7%	19%	22%	28%	35%	46%	58%	63%	70%	76%	85%	92%
	2年産	3%	14%	20%	28%	35%	44%	-	-	-	-	-	-

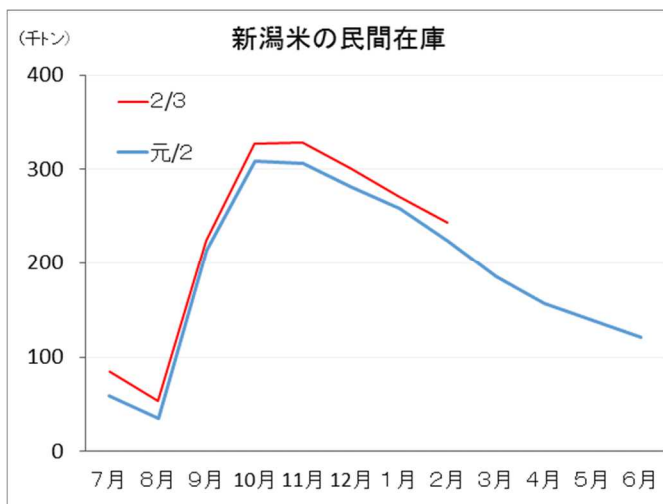
(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、販売比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。

在庫状況

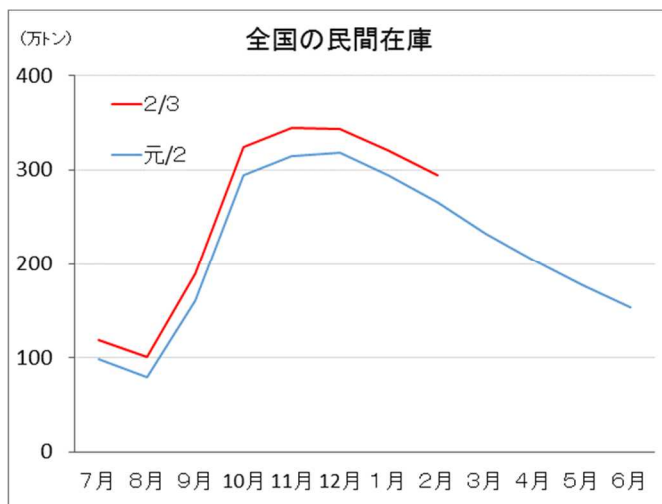
(1)新潟米

1月時点の新潟米の民間在庫(うるち米)は、前年同月から19千トン増の243千トンとなり、前年を17か月連続で上回った。



(2)全国

1月時点の全国の民間在庫(うるち米)は、前年同月から28万トン増の294万トンとなり、前年を15か月連続で上回った。



民間在庫の推移(うるち米)

(単位:新潟米は玄米千トン、全国は玄米万トン)

		7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
新潟米	元/2	59	35	214	309	306	281	259	224	186	157	139	122
	元 年 産 米	0	1	194	293	294	273	253	219	183	155	137	120
	1年古米(30年産)	58	34	19	16	12	8	6	4	3	2	1	1
	2/3	85	54	225	327	328	301	271	243				
	2 年 産 米	0	0	189	298	304	282	256	231				
	1年古米(元年産)	84	53	36	28	24	19	15	12				
全国	元/2	99	79	161	294	315	318	295	266	233	204	178	154
	元 年 産 米	0	10	115	255	283	294	276	250	221	193	169	146
	1年古米(30年産)	95	66	43	34	25	16	12	9	7	5	4	3
	2/3	119	101	190	325	345	344	321	294				
	2 年 産 米	0	12	123	267	298	307	292	271				
	1年古米(元年産)	112	84	61	51	40	30	23	17				

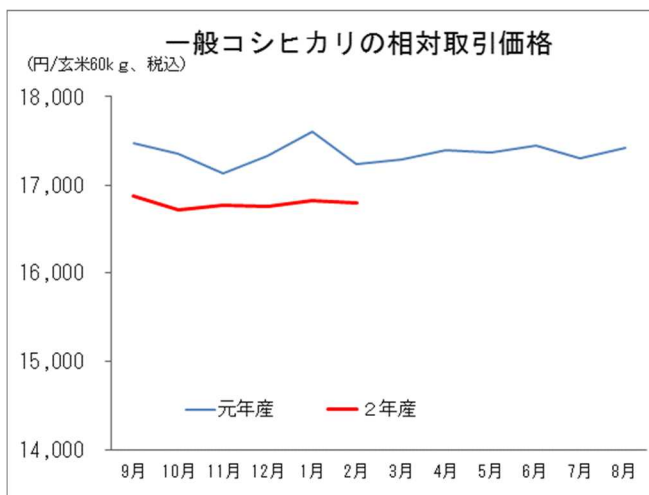
資料: 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

- 注: 1 出荷段階及び販売段階における水稲うるちもみ及び水稲うるち玄米(醸造用玄米を含む。)の月末在庫量(玄米換算)の値である。
 2 出荷段階は、全農、道県経済連、県単一農協、道県出荷団体(年間の玄米仕入数量が5,000トン以上)、出荷業者(年間の玄米仕入量が500トン以上)である。
 3 販売段階は、米穀の販売の事業を行う者(年間の玄米仕入量が4,000トン以上)である。

相対取引価格

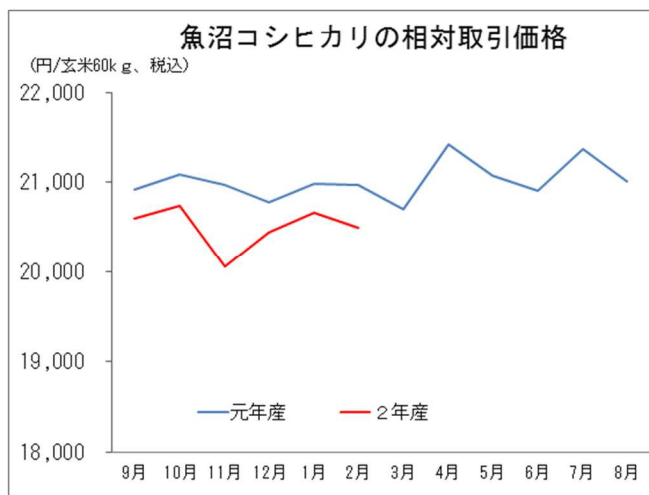
(1)一般コシヒカリ

1月時点の一般コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ445円下回り、16,794円(玄米60kg、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

1月時点の魚沼コシヒカリの相対取引価格(1等)は、前年同月に比べ481円下回り、20,492円(玄米60kg、税込)となった。



相対取引価格の推移

(単位:円)

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般コシヒカリ	30年産	17,081	17,106	16,975	17,021	17,090	17,109	17,027	16,944	16,929	16,718	17,130	17,020
	元年産	17,471	17,353	17,126	17,334	17,604	17,239	17,294	17,396	17,366	17,453	17,303	17,414
	2年産	16,871	16,713	16,776	16,761	16,828	16,794	-	-	-	-	-	-
魚沼コシヒカリ	30年産	20,791	20,794	21,241	20,939	21,210	20,819	21,462	21,528	21,695	21,699	21,458	21,735
	元年産	20,919	21,085	20,971	20,782	20,980	20,973	20,694	21,416	21,078	20,908	21,370	21,008
	2年産	20,595	20,733	20,049	20,437	20,665	20,492	-	-	-	-	-	-
岩船コシヒカリ	30年産	17,442	17,474	17,478	17,454	17,493	17,423	17,445	-	-	-	17,743	-
	元年産	17,811	17,917	17,962	17,948	18,101	17,968	18,079	-	-	17,913	-	-
	2年産	17,292	17,276	17,258	17,241	17,226	17,245	-	-	-	-	-	-
佐渡コシヒカリ	30年産	17,487	17,830	17,476	17,493	17,420	17,349	17,458	-	17,510	-	18,337	-
	元年産	17,834	17,922	17,932	17,919	18,199	18,059	18,137	17,951	-	17,785	-	-
	2年産	17,264	17,273	17,533	17,278	17,229	17,330	-	-	-	-	-	-

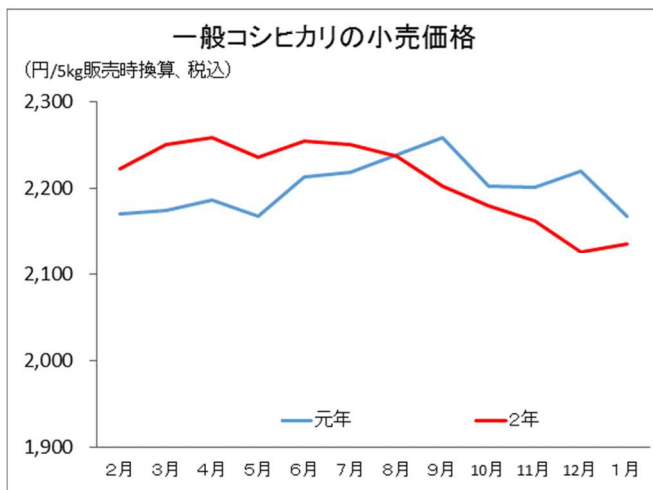
(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「-」は、当該月の相対取引契約がなかったもの、または、当該月の相対取引数量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

小売価格
(POSデータ)

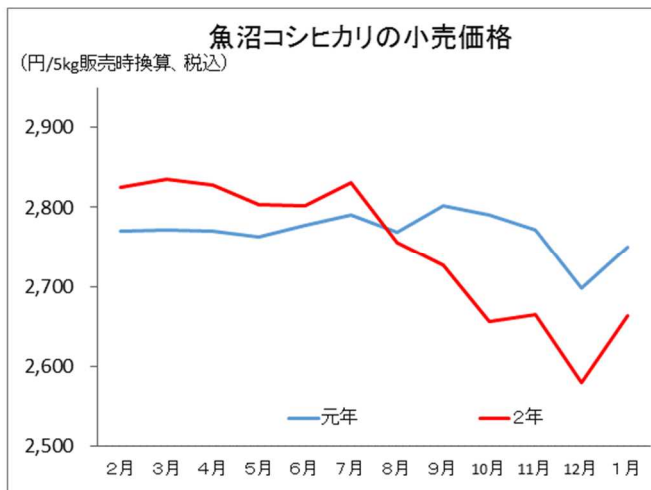
(1)一般コシヒカリ

1月時点の一般コシヒカリの小売価格は、前年同期に比べ 32 円下回り、2,136 円 (5kg 袋販売時換算、税込)となった。



(2)魚沼コシヒカリ

1月時点の魚沼コシヒカリの小売価格は、前年同期に比べ 87 円下回り、2,663 円 (5kg 袋販売時換算、税込)となった。



小売価格(POSデータ)の推移

(単位:円)

		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
一般 コシヒカリ	30年	2,140	2,159	2,156	2,151	2,143	2,134	2,158	2,157	2,171	2,146	2,173	2,172
	元年	2,170	2,174	2,186	2,168	2,213	2,219	2,239	2,258	2,202	2,201	2,220	2,168
	2年	2,222	2,250	2,259	2,236	2,254	2,251	2,237	2,203	2,180	2,162	2,126	2,136
魚沼 コシヒカリ	30年	2,839	2,825	2,812	2,783	2,830	2,806	2,782	2,807	2,776	2,764	2,743	2,830
	元年	2,770	2,772	2,771	2,763	2,778	2,791	2,769	2,802	2,791	2,772	2,698	2,750
	2年	2,825	2,835	2,828	2,803	2,802	2,831	2,756	2,727	2,656	2,665	2,580	2,663
岩船 コシヒカリ	30年	2,292	2,275	2,221	2,264	2,279	2,275	2,254	2,229	2,231	2,254	2,224	2,270
	元年	2,298	2,235	2,276	2,254	2,233	2,199	2,231	2,265	2,220	2,246	2,252	2,244
	2年	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
佐渡 コシヒカリ	30年	2,110	2,243	2,282	2,280	2,260	2,246	2,245	2,231	2,209	2,215	2,246	2,282
	元年	2,289	2,309	2,305	2,308	2,306	2,295	2,280	2,298	2,232	2,218	2,300	2,262
	2年	2,312	2,259	2,357	2,365	2,344	2,384	2,346	2,360	2,262	2,249	2,278	2,274

資料:農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)「—」は、当該月の取扱量が100トン未満であり、価格の公表が行われないもの。

編集後記～「ぼたもち」と「おはぎ」～

こんにちは！今月も採用1年目のSがお送りします。

最近はおぼたもちを食べる時期になりましたね。私の大好物です♪

ところで、皆様は「ぼたもち」と「おはぎ」の違いをご存じでしょうか？

実は季節によって呼び方が違って来そうです！春は「ぼたもち」、秋は「おはぎ」と呼びます。

この呼び方は春の「牡丹」、秋の「萩」という花に由来しているそうです。

今年度も新潟米マンスリーレポートをご愛読いただきありがとうございました！来年度もよろしくお祈りします！！

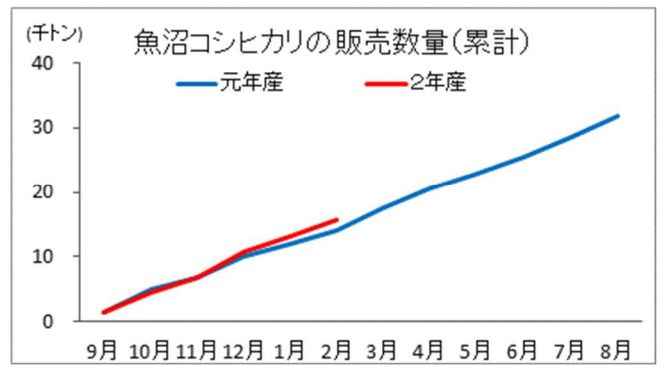
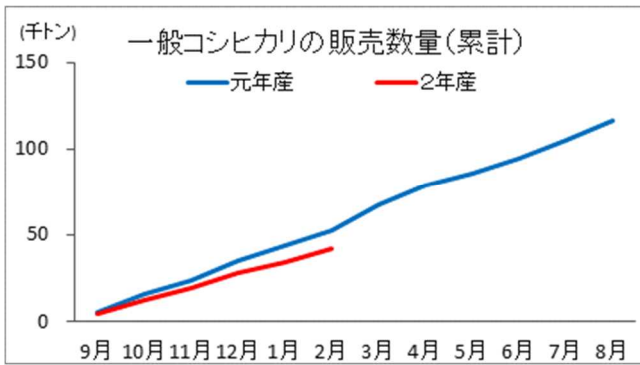


TEL : 025-280-5295

URL : <https://www.niigatamai.info>

資料編

販売状況



販売数量(累計)の推移

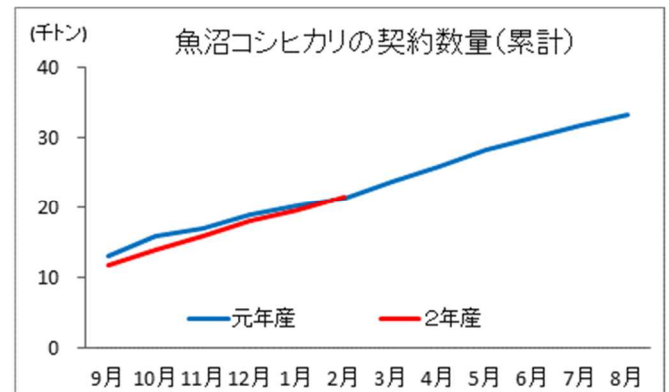
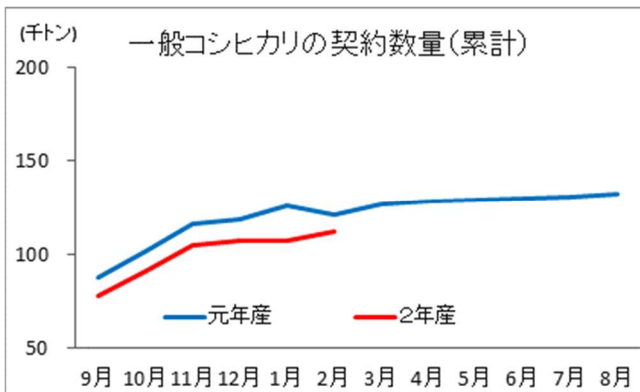
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	5.3	16.9	27.2	40.9	50	59.9	71.7	83.3	91.8	100.3	110.1	118.2
	元年産	5.5	15.2	23.8	34.8	43.7	52	67.4	78.7	85.4	94.4	105.3	116.4
	2年産	4.2	12.1	18.7	27.9	34	41.5						
魚沼 コシヒカリ	30年産	1.3	4.6	6.8	9.8	11.7	13.6	17.8	20.9	23.3	25.6	27.9	29.7
	元年産	1.5	5.0	6.9	10.0	11.9	14.1	17.5	20.5	23.0	25.6	28.6	31.9
	2年産	1.5	4.5	6.9	10.8	13.1	15.6						
岩船 コシヒカリ	30年産	0.1	1.5	2.4	3.2	3.7	4.7	5.6	6.9	7.7	8.4	9.5	10.2
	元年産	0.2	1.4	2.0	3.0	3.6	4.3	5.4	6.6	7.3	8.6	10.2	11.4
	2年産	0.2	1.3	2.0	3.0	3.9	4.5						
佐渡 コシヒカリ	30年産	0.2	2.2	3.2	4.3	5.5	6.3	7.2	8.1	9	9.7	10.5	11.1
	元年産	0.4	2.3	3.2	4.1	5.0	6.6	8.3	9.2	10.1	11.0	12.3	13.4
	2年産	0.2	1.7	2.9	4.0	5.0	6.2						

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約状況



契約数量(累計)の推移

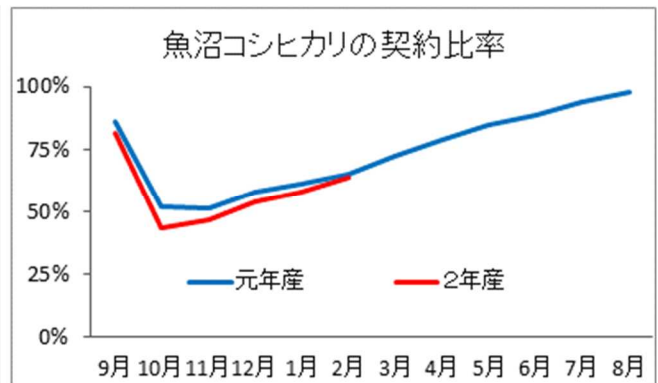
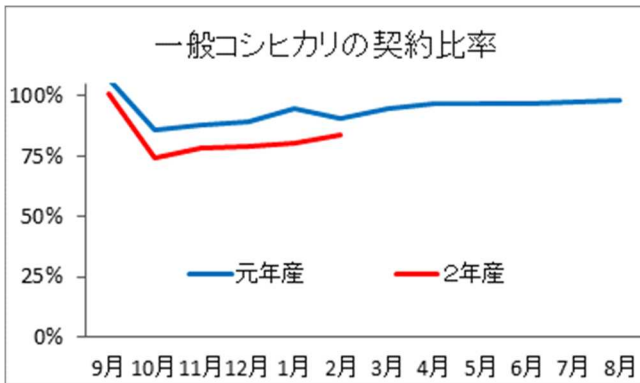
(玄米千トン)

産地・年産		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	85.7	100.5	106.4	111.5	112.9	118.2	122.0	123.3	120.9	122.8	124.1	125.5
	元年産	87.7	101.9	115.9	118.9	125.7	120.7	126.6	128.6	129.3	130.1	131.2	132.7
	2年産	77.5	90.8	105.1	107.0	107.4	111.7						
魚沼 コシヒカリ	30年産	14.4	19.3	20.9	22.1	18.8	20.3	23.8	25.2	26.8	28.5	30.0	31.1
	元年産	13.0	15.9	16.9	19.0	20.2	21.3	23.8	25.9	28.4	30.1	31.8	33.2
	2年産	11.8	14.0	15.9	18.2	19.6	21.5						
岩船 コシヒカリ	30年産	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.1	11.2	10.4	10.4	10.4	10.4	10.6
	元年産	9.4	9.5	9.5	9.5	10.4	11.3	12.6	12.6	12.6	12.6	12.6	12.8
	2年産	8.7	9.0	10.7	10.8	10.5	10.5						
佐渡 コシヒカリ	30年産	11.2	11.4	11.4	11.7	11.7	11.8	12.1	11.4	11.7	11.7	11.7	11.8
	元年産	10.9	11.1	11.3	11.6	12.3	13.4	14.2	14.4	14.2	14.2	14.2	14.5
	2年産	12.7	12.8	12.9	13.0	13.1	13.3						

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)年度毎に調査対象者が異なる可能性がある

契約比率



契約比率の推移

		9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
一般 コシヒカリ	30年産	128%	90%	88%	92%	92%	96%	98%	99%	96%	98%	99%	100%
	元年産	107%	86%	88%	90%	95%	91%	95%	97%	97%	97%	97%	99%
	2年産	101%	74%	79%	79%	81%	84%	-	-	-	-	-	-
魚沼 コシヒカリ	30年産	125%	75%	77%	81%	68%	74%	78%	82%	86%	91%	96%	100%
	元年産	86%	52%	52%	58%	61%	65%	72%	79%	85%	89%	94%	98%
	2年産	81%	44%	47%	54%	58%	64%	-	-	-	-	-	-
岩船 コシヒカリ	30年産	555%	109%	108%	108%	107%	107%	107%	101%	100%	100%	99%	102%
	元年産	254%	76%	75%	75%	83%	90%	100%	100%	100%	99%	99%	99%
	2年産	235%	77%	91%	92%	89%	89%	-	-	-	-	-	-
佐渡 コシヒカリ	30年産	400%	119%	97%	98%	80%	99%	101%	95%	98%	98%	98%	99%
	元年産	198%	93%	78%	81%	86%	93%	98%	100%	98%	98%	98%	100%
	2年産	212%	105%	91%	92%	92%	94%	-	-	-	-	-	-

(資料)農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

(注)各年産の9月から12月は、契約比率未公表のため、直近月の集荷量で除して算出。